

新宮山彦ぐるーぷ第2220回

## 令和4年度 世界遺産「吉野・大峯」地域連絡協議会

◇実施日 2月10日(金)

雨時々曇

◇参加者 梶野照雄

1名

昨年は10月に開催された地域連絡協議会が、2月に延期されて開催された。大淀町のコンビニで弁当を食べて蔵王堂西側の駐車場に向かう。蔵王堂の消火設備工事は終わって元の姿に戻っていた。



雨の蔵王堂

会場入り口

開会前

ビクターセンターに着くと、そろそろ人が集まりだしていた。予定時刻の午後1時半から奈良県の担当者の司会で金峯山寺の五條官領の挨拶で開会した。

今回は関係する市町村全て(五條市、吉野町、天川村、黒滝村、川

上村、上北山村、下北山村、十津川村)の担当者が出席、青岸渡寺の高木副住職も出席された。



金峯山寺の五條官領

文化庁の鈴木氏

関係市町村代表

文化庁の鈴木地平氏「世界遺産に係る最近の動向」の講演と、同じく文化庁の田中祐樹、乾真穂氏から「佐渡銀山の世界文化遺産登録」と「文化庁の補助金事業」についてのお話があった。

休憩を挟んで大峰奥駈道の情報交換が行われた。昨年度までの補修や道標設置などの実績報告があり、その後各自自治体、団体からの報告があった。当ぐるーぷからは釈迦ヶ岳の釈迦如来像輪光修理、三重の滝歩道の階段手摺交換、深仙宿避難小屋の窓ガラス交換の報告を行った。

金峯山寺の田中岳良氏から「五鈴峰の崩落個所が年を追うごとにひどくなつて通行に危険が生じている。以前にも指摘したが、どのような対応を考えているのか」との質問があり、実際に歩いてよく知っている人からは同調の声が上がった。

五條市の担当者からは「現場は遠いので、いまだ現状確認が出来ていない」との答えがあり、奈良県や文化庁と調整の上対応したいとの事だった。

今年は参加者が多く、予定終了時刻を30分ほど過ぎて閉会した。

閉会后に奈良新聞や宗教専門紙から取材を受け、環境省の国立公園管理官や森林管理事務所の下北駐在官等と情報交換を行った。

(記：梶野)

#### 行動タイム

12：20 大淀町 12：40→13：12 吉野山ビジターセンター 16：55